

窃盗被害に遭わないために

乗物盗(自転車盗)への対策



～2つ以上の鍵を用意しよう～

鍵を壊すことをちゅうちょしない犯人は、目撃されるリスクをおそれ、犯行に時間をかけることを嫌います。2つ以上の鍵をすることで、非常に狙われにくくなります。

また、鍵のひとつは他の構造物に固定することで、より盗まれにくくなります。

車上狙いへの対策



① 車内や自転車に荷物を置き去りにしない!

犯人は、ガラスを割ってでも犯行に及びます。カード類やスマートフォンなど何でも標的になるので、車内の見える場所に荷物は置かないようにしましょう。

また、自転車の場合は、荷物を置き去りにしないようにしましょう。

② 車から離れるときは、必ず施錠!

施錠していない車は真っ先に狙われます。また、「手が入らない程度だから」と窓を少し開けていても、工具で簡単に開錠されてしまいます。車を離れる時は、施錠し、窓は完全に閉めましょう。



侵入窃盗への対策



① 在宅中でも必ず施錠

家人が在宅中でも侵入されるケースがあります。「家に人が居るから」と施錠しないのは絶対にダメ! 2階の窓もしっかり施錠しましょう。



③ 防犯用品で犯人を撃退!

振動を感知して大きな音で犯人を威嚇する「警報機」、人が近づくと点灯する「センサーライト」など、場所に応じた防犯用品を活用しましょう。



② 家の周りは、見通しを良く

泥棒にとって、人目を遮る高い塀や、植栽は、格好の隠れ場所です。また、灯油タンクなどは足場として利用される場合もあります。家の周囲を点検し、死角や足場となるものを極力なくしましょう。



④ 「地域の目」で安全な街にしよう!

ふだんからあいさつ、声掛けを励行するなど、ご近所付き合いを大事にしましょう。

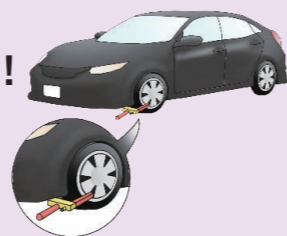
新たな手口の自動車盗難被害が増えています

車両に特殊な機械をつないで、制御システムを乗っ取り、不正に始動させ、乗って逃げるといった盗難が増えています。

「施錠された車両」「エンジンキーが適切に保管されていた車両」もこの手口による被害に遭っています。

自動車を盗まれないためには複数の物理的な対策が有効!

- ① ハンドルロック
- ② タイヤロック
- ③ 警報機・センサーライトなど



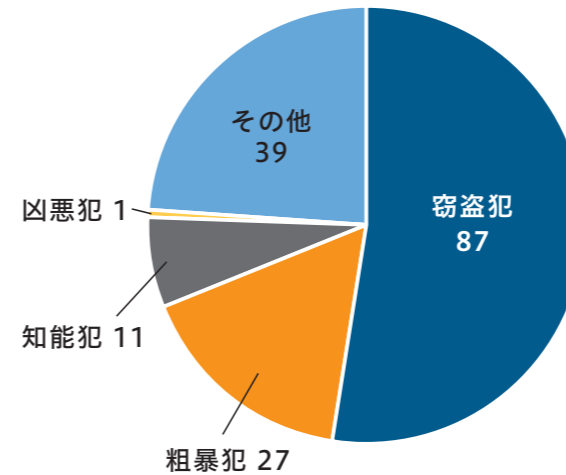
防犯対策

犯罪からたいせつな家族を守るために

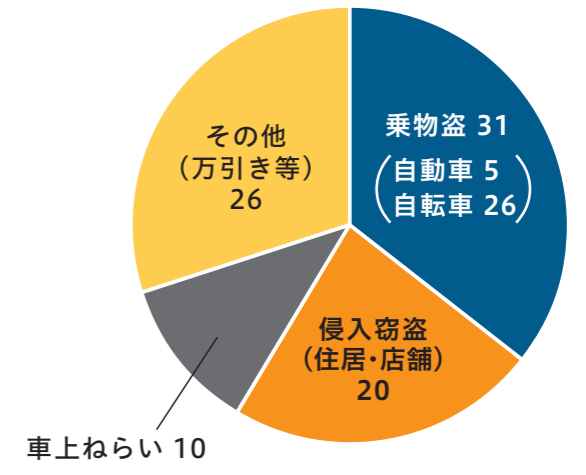
令和3年に市内で発生した犯罪件数は、警察が把握しているだけでも165件あり、1週間に約3件の犯罪が発生していたことになります。

その中で最も多く発生している犯罪は、他人の物を盗む窃盗です。窃盗被害の中でも、乗物盗(自動車・自転車)、侵入窃盗が特に多く発生しています。

これらの犯罪被害に遭わないよう、防犯への意識を高め、対策を行きましょう。



市内の犯罪件数 165件



市内で発生した窃盗犯の内訳 87件

犯罪を未然に防ぐには

市民の皆さん一人一人が高い防犯意識を持ち、自分の身の回りから防犯対策を行うだけでなく、地域コミュニティに参加し、防犯活動を行うことが重要です。

市内では、多くの行政区が、防犯活動団体を組織して、定期的にパトロールを実施しています。皆さんで参加して犯罪を未然に防ぎましょう。

10月11日「減らそう犯罪の日」

埼玉県では、県民の防犯意識の向上と県民参加による取組により犯罪の減少を図るため、10月11日を「減らそう犯罪の日」と定めています。

市内では、自主防犯活動団体によるパトロールが実施されたほか、白岡駅周辺において、防犯推進委員と久喜警察署による啓発活動が実施されました。



白岡市安心安全メール

市が発信する防犯情報や、防災無線の放送内容をメールで送信するサービスです。



埼玉県警メールマガジン【犯罪情報官NEWS】

埼玉県警察が発信している犯罪・防犯情報ツールです。

